

令和4年6月20日
神奈川県剣道連盟

第66回 神奈川県青少年剣道選手権大会要項

1. 目的

将来を担う青少年が剣道の試合を通じて心身を鍛え、年令別に技を競うことにより、剣道に対する意欲を持たせ剣道の普及発展を図るものである。

2. 名称 神奈川県青少年剣道選手権大会

3. 主催 神奈川県剣道連盟

4. 会場 神奈川県立武道館

5. 日時 令和4年9月4日（日） 受付 午前8時45分～

※ 受付時間 : 12部門を1グループ4部門で3グループに分け1グループ毎に受付しますので
募集終了後グループ毎の受付時間を連絡いたします。

※ 検温申告 : 受付で入館時の体温を報告してください。

6. 開会式 午前9時30分 閉会式 試合終了後

7. 試合 少年の部 年齢別個人選手権試合
青年の部 個人選手権試合
女子の部 個人選手権試合

8. 参加選手の資格

神奈川県剣連支部に登録する下記の者。 (登録支部より出場の事)

少年の部 中学1年より3年まで
高校1年より3年まで
18歳・19歳の部は大学生を含む。

青年の部 満20歳より25歳までの者 (大学生を含む)

女子の部 中学女子・高校女子・一般女子 (大学生を含む)
一般女子 (大学生を含む) は満18歳より25歳までの者。

*年齢起算日は各部共に満年齢で、起算は令和4年4月1日現在とします。

9. 参加人員 少年の部 各年齢別 1名

青年の部 1名

女子の部 中学女子・高校女子・一般女子 (大学生を含む) 各1名

10. 試合方法 トーナメント方式

(1) 試合は、全日本剣道連盟試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインに記載の試合方法による。

(2) 試合時間は、3分、3本勝負とする。

(3) 試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、
先に一本取得したものを勝ちとする。

11. 得点 ・1位 7点 ・2位 5点 ・3位 (2名) 3点 ・4位 (4名) 1点

12. 表彰 ・各部門毎の優勝、準優勝、3位 (2人) を表彰します。

・少年の部優勝者に対し賞状賞品を授与します。

・青年の部 // //

・女子の部 // //

・総合優勝支部に対 // //

・敢闘賞を各部門毎4名に授与します。(合計48名)

13. 参加注意事項

- (1) 出場選手は必ず各支部別の標識（名札）をつけること。
- (2) 支部不参加の場合も「不参加」と記入し（FAX、メール可）必ず提出して下さい。

F A X 045-321-6176

メール jimukyoku@kanagawa-kenren.com

- (3) 選手の変更は、令和4年8月1日（月）までに連絡したものに限り認めます。但し、追加は認めません。

● 大会当日および直前に下記の様な症状がある場合は、参加を見合わせてください。

1. 平熱を越える発熱、37.5度以上ある方
2. 咳、のどの痛み等の風邪症状
3. 倦怠感呼吸困難、嗅覚味覚異常 等のある方
4. 感染が疑われる方との濃厚接触、或いは身近な人に感染が疑われる場合

● 健康保険証は必ず持参してください。

● 主管者は、医師を配置しますが応急手当以外の責任は負いません。

● 主管者は、傷害保険に加入します。（疾病等には適用されません、ご注意ください）

※試合中は面マスク、マウスシールドの着用は必須とします。

※試合以外の時は不織布マスクを必ず着用してください。

14. 会場係員

- (1) 係員は横浜市内の各支部から（各1名、計18名）お願いします。

（支部不参加の場合でも必ず1名を派遣してください。）

- (2) 警備係は「川崎市」「横須賀」からお願いします。（各1名、計2名）

15. 申込期限・参加料

- (1) 選手名簿の提出は参加料と一緒に令和4年7月27日（水）までに現金書留等で神奈川県剣道連盟事務局へ納入してください。

- (2) 参加料は各支部毎に3000円を納入願います。

【剣道用具の取り扱いについて】

大会・予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

- (1) 竹刀については次の事項を遵守すること。

● 竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2 および図のとおりとする。

● ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。

- (2) 小手については次の事項を遵守すること。

● 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。

● 小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。

- (3) 面については次の事項を遵守すること。

● 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

- (4) 剣道着については次の事項を遵守すること。

● 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表2 竹刀の基準（二刀の場合）

	対 象	大学生・一般		
		大 刀	小 刀	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	62センチメートル以下	
重さ	男 性	440グラム以上	280～300グラム	
	女 性	400グラム以上	250～280グラム	
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

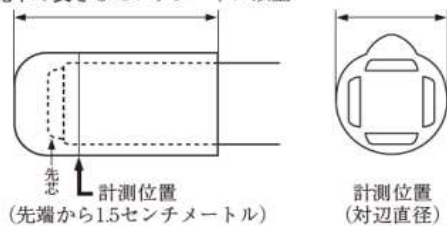
表2 竹刀の基準（二刀の場合）

	対 象	大学生・一般		
		大 刀	小 刀	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	62センチメートル以下	
重さ	男 性	440グラム以上	280～300グラム	
	女 性	400グラム以上	250～280グラム	
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

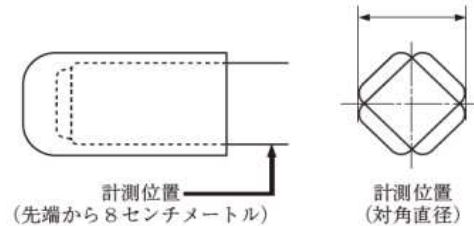
図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



以上